

令和元年度事業報告

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

1. 啓発広報事業

(1) 消防設備等の適正な設置及び維持管理についての啓蒙普及

新聞広告 春・秋の全国火災予防運動、防災の日等 新聞3社
危険物保安協会会報広告 東部2回 中部1回
鳥取県消防学校にて若手消防職員に講習 協力:(有)米子報知機

(2) 火災予防に関する啓発

救急防災フェスタ2019 9月1日 東部消防局主催 イオン鳥取北店 協力:鳥取報知機(株)
消火競技大会(東部) 10月10日 協力:(株)吉備総合電設
啓発広報用としてポケットティッシュ、ボールペン等を配布
防災フェスタ2019 11月17日 倉吉市 協力:(有)山崎商会

(3) ホームページ等による情報発信

随時更新 情報発信の方法としてFacebook 協会ページを作成、ホームページと連携

2. 講習事業

(1) 消防設備士講習

区分	講習日	会場	申請者数	修了者数
警報設備	9月26日	倉吉体育文化会館	106名	105名
消火設備	10月9日	倉吉市防災センター	69名	69名
避難設備・消火器	10月10日		73名	72名
計			248名	246名

3. 出版物頒布事業

(1) 出版物の斡旋

安全センター発行の実務図書・試験準備テキスト、広島県発行の実務図書等を斡旋

(2) 防火・防災セイフティマーク等の斡旋

防火・防災優良認定証1個、防火優良認定証8個(東部5、中部2、西部1)、防火・防災基準点検済証1個、防火基準点検済証3個、文字プレート2個を斡旋

4. 点検報告制度の推進事業

(1) 消防用設備等の設置及び維持管理に関する調査研究並びに指導

ア 会員研修 6月27～28日 出席者14名 中国電力島根原子力発電所視察(島根県)

イ 消防用設備等セミナー

講師:違反是正センター 岡田次長 根廻調査役

倉吉未来中心 11月27日 出席者75名

ウ 消防関係機関との協議会の開催

2年1月23日 米子市 米子ワシントンホテルプラザ 出席者24名

(2) 消防用設備等の保守契約に関する指導、斡旋

ア 月刊フェスク、刊行物、資料等を配布した。

イ 消防用設備等点検済表示制度の推進

点検済票の交付25事業所[県内14社 島根県4社 岡山県4社 広島県2社 岐阜県1社]

	発行枚数	昨年度発行枚数	昨年比
消火器用	145,600	135,400	10,200
設備用	75,600	67,200	8,400
合計	221,200	202,600	18,600

ウ バルブ類点検済シールの頒布

移動式粉末消火設備バルブ類点検済シールを会員へ頒布

エ 消防用設備点検器具等の貸出

連結送水管耐圧試験機の貸出 19回

(3) 中国地区消防設備協会連絡協議会事務局長会議(9月19日広島県)・事務担当者会議(12月19日広島県)及び中国・四国消防設備協会等連絡協議会(12月5日広島県)に出席し、意見や情報を交換。

(4) 要望活動

5. 表彰

(1) 協会長表彰

第1号表彰	赤嶋修雄 鳥取報知機(株)	中村哲康 鳥取報知機(株)
	安達宏行 和幸電通(株)米子支店	八田直樹 (株)米子消防器具商会
	高田朋宏 (株)吉谷機械製作所	細田学泰 寿通信工業(有)
	谷口敬彦 松谷ポンプ(株)	三橋裕人 松谷ポンプ(株)
	富山美穂 松谷ポンプ(株)	山下雅史 (株)吉谷機械製作所

第3号表彰 稲田宗万 (一社)鳥取県消防設備協会

(2) 理事長表彰

第3号表彰 稲田宗万 (一社)鳥取県消防設備協会

第4号表彰 細田電気保安管理事務所

(3) 消防庁長官表彰 熊田一隆 鳥取報知機株式会社

6. 会議等

(1) 総会 6月7日

(2) 理事会 6回 4月25日、6月7日、8月21日、11月27日、2年1月23日、3月24日

(3) 役員会 5回 4月2日、6月28日、7月23日、9月24日、3月3日

(4) 監査会 4月11日(平成30年度事業及び決算について)

(5) 式典

創立40周年 (一社)鳥取県消防設備協会 10月3日

法人化20周年 (一社)鳥根県消防設備協会 10月17日

(6) 研修・会議等

会長 2回 11月1日、12月5日

事務局長 4回 9月19日、11月1日、12月5日、2年1月30~31日

職員 2回 7月4~5日、12月19日

7. その他

創立40周年記念誌(40年のあゆみ)を発行した。

附属明細書について

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。